

ほっこりだより

第 61 号 2012 年 6 月 3 日 発行

東向日キリスト教会

京都府向日市森本町下森本 6-5

Tel: 075 (931) 5934

http://www.h-mukou-ch.jp/

年を取っても 背負って運ぶ

映画「わが母の記」で涙。

この映画は、作家の井上靖の自伝小説を映画化したものです。捨てられた子として母を憎みつつ育った息子がやがて、老いた母の真実の気持ちを知り、母を許すのです。そして痴呆になって飛び出した母を背負って家に帰るのですが、観客の多くは、このシーンに涙していました。

この母親は、子供の世話になりながら、家で最期を迎えるのですが、どれだけ喜んでいただろうか。封切が母の日と重なったこともあり、老後の人生を考えさせられました。



老後をどう迎えるか。

前から少子高齢化が叫ばれている社会問題です。今、七十歳以上の老人を四人の人達で支えています。二十年后には二人になる予想です。人の世話になりたくない、また、忙しくて家族であっても世話が出来ないのが現状でしょう。老人になったら、ピンピンころりがいいと思ってしまう。

しかし、現実厳しく、家で最期を願いつつながら、施設に入り、世話になりながら病院で最期を迎えることとなります。

老後をどう迎えるか。

日本は世界の長寿国です。百五歳以上の超百寿者が全国で二十人もおられるそうです。元気で楽しく過ごせる秘訣を皆、知りたいと思っています。一つは、何かの趣味や楽しみを持った人生を歩んでいます。他人に喜んでもらえる趣味であるなら最高です。

百歳の現役医師、日野原重明さんが先ごろ彦根市で開かれた講演会で「輝いて生きるためには、良き友を持つこと」と語られたそうです。(京都新聞より抜粋)

神が良き友であり、背負って運ぶ。

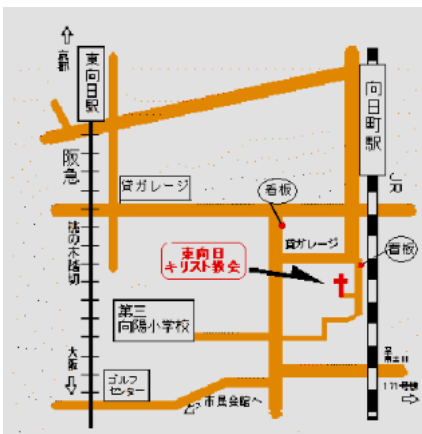
私の祖母は、八十四歳でクリスマスチャントなり、百歳を超え、自宅で亡くなりました。最後は痴呆となり、寝たきりの生活でしたが家内が最後まで世話をしました。また、介護保険制度がありませんでした。

祖母は生前からよく祈っていました。そのため、痴呆になり、寝たきりでも「神様、ありがとう」だけは言っていました。これは、全ての世話をする家内にとって嬉しい言葉でした。

現在、十分ではないけれども介護制度が機能しています。何らかの関わりを持つことになるでしょう。しかし、世話をする側もされる側もここを離しては冷たい、寂しい老後を迎えねばなりません。どのように心を用いて行くかが問われるでしょう。

「あなたが年を取っても、白髪になっても神は背負って運ぼう。」 聖書

教会案内図です



俳句

紅椿 朝日を受けて かがやけり
大川に 映える桜の あざやかさ Y子

安曇野の 宿下駄涼し 星灯る
ガムシロップの如く沈みて春眠し
梅雨寒や 野良猫の声 濡れにけり 古都葉

短歌

涼しげにエスカレーター登りゆく
君、階段で追うような恋
夜中まで試験勉強する吾子に
膝掛わたす寄り添いたくて
赤、白、黄チューリップ揺れる校庭に
九九言っ子らの声が聞こえる
古都葉

お茶会を楽しみます

立礼式で楽しみます

日本の茶道の国際化のため、明治の初めに当時の裏千家の家元が考案し始められました。椅子、テーブルを用いた作法です。真に親しみやすいものです。高齢者にとってたいへん楽な作法です。教会では、毎年五月に茶会を開き、近くの方に自由に参加していただいています。

茶の歴史は中国から

茶は西暦八百年ごろ中国から遣唐使が持ち込み京都で栽培を始めました。最初は抹茶法を楽しんでいましたが、やがて千利休らによって工夫され現在の茶道の基本が作られました。

利休の生きた時代は、キリスト教の宣教師が大勢見えた時代で、キリスト教の儀式を見て、その多くを茶道に取り入れたと言われています。

春の茶会（立礼式でお気軽に）



茶道とキリスト教の共通

茶道のこころは「もてなし」と「しつらい」と言われています。相手のお立場や気持ちをくみ取ることでしょう。それを「和敬清寂」の精神とも教えられています。

利休七哲と言われた弟子たちの中には、高山右近や蒲生氏郷などキリシタン大名がいました。利休はそうした弟子達と共により良い茶道を確立したことでしょう。回し飲みを楽しむ「濃茶」や茶室に入る小さな「にじり口」には、共通のものがあります。

それ以上に、毎日の忙しさの中で、他人のことを考え、思いやるところがなくなり、相手を傷つけてしまう昨今、もう一度静まって安らぎを求めたいものです。教会のにじり口のお入り下さい。お待ちしております。

「イエス・キリストは門です。誰でも、キリストを通して入るなら、救われます。また安らかに出入りし、牧草を見つめます。」聖書



イベントのご案内

6月17日(日)午後2時より

「落語一席と楽しい落語の話」

大津福音自由教会淵野弘司師

7月15日(日)午前10時半より

コンサートと礼拝の一時。

ギター伴奏でゴスペルと一緒に歌いましょう。

入場無料です。どなたもどうぞ



「ゴスペルを楽しみませんか。ゴスペルとは聖書のことばを歌にしたものです。ギターに合わせて一緒にどうぞ。左のスナップ写真は、昨年、一緒に楽しんだコンサートです。」